

歴史生かしたまちづくり千曲市素案

重点区域に3地区指定

千曲市は、古い建物や伝統的な活動を生かしたまちづくりをする「歴史的風致維持向上計画」の素案をまとめ、12日の市議会地域振興対策特別



千曲市の「歴史的風致維持向上計画」素案の重点区域

委員会に示した。伝統行事や歴史的建造物、街並みが一体となった環境を「歴史的風致」と位置付けて維持、向上に向けた方針を盛った。特に力を入れる重点区域には「稲荷山・桑原・八幡」「更級・姨捨」「戸倉上山田温泉」の3地区を指定するとした。

歴史まちづくり法に基づき、同計画が国に認定されれば、計画に沿った街並みの整備などに国の補助金が受けやすくなる。市は近く市民意見を募集。4月に計画を決定して国に申請し、6月の認定を

目指している。

素案によると、計画の実施年度は2016年度から10年間。3地区はいずれも千曲川西部に位置し、面積は計約979畝となる。稲荷山・桑原



歴史的風致維持向上計画素案で重点区域とした稲荷山の街並み

・八幡地区Ⅱ地図中の①Ⅱる歴史がある。

は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された稲荷山、歴史のある新嘗祭「大頭祭」が一带で開かれる武水別神社がある。更級・姨捨地区Ⅱ同②Ⅱは国の重要文化的景観「姨捨の棚田」で知られる。戸倉上山田温泉地区Ⅱ同③Ⅱは温泉として110年を超え

る歴史がある。風致の維持・向上方針としては、建造物が損傷していれば所有者らが修理する際の支援策を考え、空き家の場合は活用方法を検討するとした。稲荷山などの古い街並みに立つ電柱の地中化や、祭りなどの後継者育成も進めるとしている。